

自分とのかかわりで道徳的価値をつかむ道徳学習 ～動作的表現活動の工夫を通して～

要約

今日、子どもたちをとりまく環境は急激に変化し続け、物的豊かさに恵まれているものの、直接的な人との関わりが減り、人間関係の希薄化が進んでいる。このような社会状況の中で子どもたちは、コミュニケーション不足となり、まるでゲームの中のようなバーチャル感覚に陥ってしまっている。それは、場の雰囲気がかめず、自尊感情や学ぶ意欲、社会性の低下といった傾向に表れている。そのため、子どもたちが真摯に受け止められるような道徳の時間の充実が重要である。道徳の時間において自分の心を耕し、道徳的価値をつかみ、善悪の判断や実践する意欲を高めていくことで、豊かな心をはぐくみ、人間としての生き方の自覚を促し、道徳性を育成することにつながっていくだろう。そこで、動作的表現活動を多く仕組みながら、道徳の時間において道徳的価値をつかむ取組を進めていくことは意義深いと考える。

(1) 学習過程の工夫

- ① 動作的表現①→状況把握
- ② 動作的表現②→心情把握
- ③ 動作的表現③→自己理解・他己理解

(2) 動作的表現活動の工夫

- ① 登場人物の心情に共感できるようにお面作成などの教材の工夫。
- ② 全児童が自分の見方・考え方を意識できるためのペアトーク。
- ③ 価値に照らして自分をふり返るとともに価値を広げるための日常的な場面設定で役割演技。

(3) 具体的支援の工夫

- ① 紙芝居、挿絵、ペープサート、お面
- ② 学習ノート(吹き出し)
- ③ わたしたちの道徳の活用

実践の結果、次のような成果(○)と課題(●)を得た。

- 動作的表現活動を取り入れることは、場面状況を把握でき、経験と照らし合わせやすくなり、価値に対する自分の考えをより明確にするうえで有効だった。
- 日常生活の中の様子を役割演技をとり入れたことは、実践への意欲を高めるうえで有効だった。
- 状況把握が適切に行えるための具体的支援の在り方の究明
- 動作的表現活動の時間の保障

キーワード 動作的表現活動 動作化 役割演技 道徳的価値

1 主題設定の理由

(1) 社会的要請・現代教育の動向から

今日、子どもたちをとりまく環境は、急激に変化し続けている。科学技術の進歩・発展により物的豊かさに恵まれているものの、直接的な人との関わりが減り、人間関係の希薄化が進んでいる。人間関係の希薄化は、社会全体のモラルの低下や家庭や地域の教育力の低下を招き、児童の社会体験や自然体験の不足といった問題をひきおこしている。このような社会状況の中で生活している子どもたちは、コミュニケーション不足となり、まるで携帯やゲームの中のひとごとのようなバーチャル感覚に陥ってしまっている。それは、場の雰囲気がかめず、自尊感情の低下や学ぶ意欲の低下、社会性の低下といった傾向に表れている。生命尊重の心や自尊感情の低下、さらには基本的な生活習慣の確立の不十分さなども指摘されている。

(2) 子どもの実態から

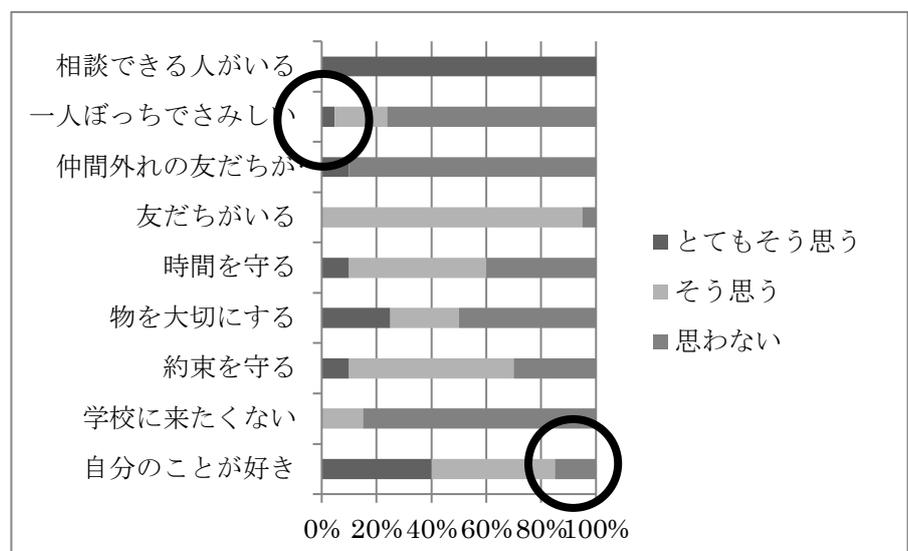
本学級の子どもたちは、大半が同じ保育園から入学してきており、お互いのことを知っており、関係性が決まっている子どもが多い。

授業中には誰とでも声をかけ合って活動するが、休憩時間に一緒に遊ぶ友だちはそれぞれ固定している子どもが多く見られる。また、特定の子に対して言い方がきつかったり、責任を追究したがつたりする。

5月に実施したアンケートにおいて、自分自身に関するイメージの低さ、全体的に自信を持って答えている項目の少なさが明らかであり、自信の低さが分かる。こういった背景が自尊感情の低さにつながっている。それは、1年生という発達段階において、道徳的価値のとらえ方が、自己中心の世界でのものの見方、とらえ方になっており、見出した価値が自分自身の心に響いていないからと考えられる。しかし、道徳の時間の中で自分をふり返ることを繰り返し行う

ことで、自分の考えや判断に自信をもって生きていく力になっていくと思われる。

以上のことから、道徳の時間の中で、自己理解を深めていくことができる授業のあり方を究明したいと考え、本主題と副主題を設定した。



【資料1 5月に実施したアンケート結果】

2 主題の意味

(1) 「自分とのかかわりで道徳的価値をつかむ」とは

① 「自分とのかかわり」とは、自分の体験やその時の感じ方や考え方をふり返ること、

自分の体験と重ね合わせて考えることである。

- ② 「自分とのかかわりで道徳的価値をつかむ」とは、自分の中にある道徳的価値を基盤として、学習で見出した価値からよりよい自分になろうとする思いや願いをもつことである。道徳的価値を自分の問題としてとらえること、すなわち価値の主體的自覚である。

(2) 「動作的表現活動」の工夫とは

- ① 「動作的表現活動」とは、身体的な動作表現を交えた言語表現のことである。繰り返すことで本音を引き出すことができたり、演者とフロアーで役割交代したり、演技を途中で中断したりすることで考えを広げたり深めたりすることができる。

主な動作的表現活動に動作化や役割演技がある。「動作化」は、教材に描かれた場面を動作によって再現させ、よりの確に人物が置かれている状況を捉えさせる技法である。「役割演技」は、人間関係や場面設定など、最小限の事柄だけを確認し、自由に演じさせることで、読んだだけでは気づかない道徳的価値を発見させる技法である。実際の行動場面を再現させる再現法や一定の条件下で自由に行わせる構成法、当面の問題を取り上げて演じる即興法などがある。

- ② 「動作的表現活動の工夫」とは、より主体的に道徳的価値の把握ができるために、どの場面でどんな活動をするか効果的か吟味することである。道徳的価値を自分の問題としてとらえることができるように、全児童が動作化したり、役割を交代したり、気持ちを吹き出しに表現したり、フロアーから客観視したりするなど、多様な見方・感じ方ができるように活動の在り方を工夫する。

3 研究の目標

どの場面でどんな動作的表現活動をとりいれると自分とのかかわりで道徳的価値をつかむ子どもを育てることができるか、究明していく。

4 研究の仮説

展開場面で、動作的表現活動を位置づければ、資料の登場人物に共感したり、自分の体験と重ねて気持ちを表したりし、道徳的価値を主体的につかんでいく子どもが育つだろう。

5 仮説検証の内容と方法

(1) 学習過程の工夫

学習過程の中で、3つの動作的表現活動を位置付ける。

- ① 動作的表現①→状況把握
- ② 動作的表現②→心情把握
- ③ 動作的表現③→自己理解・他己理解

(2) 動作的表現活動の工夫

- ① 登場人物の心情に共感できるようにお面作成などの教材の工夫
- ② 全児童が自分の見方・考え方を意識できるためのペアトーク
- ③ 価値に照らして自分をふり返るとともに価値を広げるための日常的な場面設定で役割演技

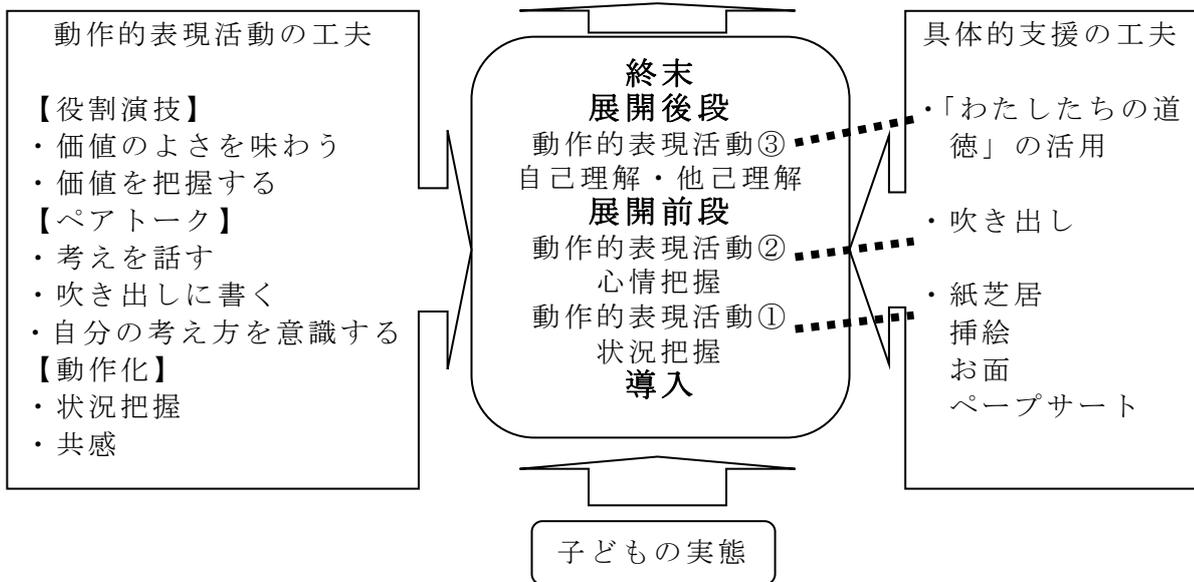
(3) 具体的支援の工夫

- ① 紙芝居、挿絵、ペープサート、お面
- ② 学習ノート(吹き出し)
- ③ わたしたちの道徳の活用

6 研究の計画

月	研究内容
5月	・研究主題の設定
6月	・実態調査とその分析 ・理論研究 ・研究の仮説の設定
7月	・教材研究 ・研究の内容 ・方法の検討
8月	・教材研究 ・研究構想作成
9月	・指導案作成・審議
10月	・検証授業1・分析
11月	・検証授業2・分析
12月	・実践のまとめ ・研究の整理と考察
1月	・研究のまとめ
2月	・研究の報告

自分とのかかわりで道徳的価値をつかむ



8 研究の実際

(1) 実践 1 (10月 2日実施)

第 1 学年 主題名 みんなのものを大切に
 価値項目 4-(1) 公德心・規則の尊重
 資料名 きいろいベンチ(文溪堂)

① 本時の主眼

- みんなのものを大切に使うと、お互いに気持ちよく生活できることがわかり、大切に使いつこうとする心情を育てる。

② 展開

	主な学習活動	支援の有効性 (○成果、●課題)
導入	1 わたしたちの道徳 P118～119 を見て、身近な公共物を見つける。 T: これはだれのものかな。 C: ○○くんの！ T: 118 ページを見ると、自分のものじゃないものたくさんあるね。みんなが使うものには、どんなものがあるかな。 C: バス。教室。道路。公園。トイレ。運動場。廊下。図書館。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> みんなのものをどうつかうといいのかな。 </div>	○ 身近にある文房具や教室の用具を例に出すことで、自分のものとそうでないものについて全員に意識させることができ、本時学習の方向付けができた。 ○ テレビ画面に映し、一緒に確認することで、公共の場所を理解させやすかった。

展開前段

2 資料「きいろいベンチ」を読み、たかしとてつおの行動や心情を読みとっていった。
○たかしとてつおがベンチにのって紙飛行機を飛ばす気持ちを全体での動作化を通して考えた。

楽しいな。
ベンチの上は高いからよく飛ぶな。
もっと遠くまで飛ばしたい。



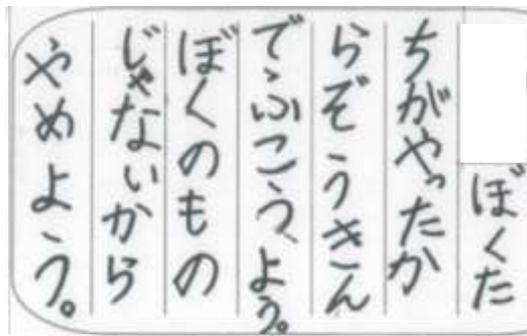
資料2：動作化している様子

○おばあさんと女の子のいやな気持ちをおさえた。

T：おばあさんと女の子の様子を見て、二人はどんな気持ちかな。

汚れてしまっていけなかった。
ベンチに乗ったらいけなかった。
あやまったほうがいいと思う。

みんなのものをだいに。



資料3：ペアトーク後の子どものノート

3 今までの自分をふりかえり話し合った。
T：みんなのものを大切にしたり、約束やきまりを守ったりしたことはあるかな。
C：図書館の本を元の場所にもどしています。
C：学級文庫の本を丁寧に片づけているよ。

みんなが気持ちよく使えるようにすると、自分も相手も気持ちいい。



資料4：みんなのものを大切にする役割演技の様子

展開後段

- 高いところから飛ばす楽しさに共感するうえで、紙飛行機をとばす動作化をすることは、有効だった。
- 状況把握のために、ベンチが汚れている様子を板書で視覚化したことは有効であった。
- 役割演技にうつる前におばあさんと女の子が不快な心情であることをおさえるのが足りなかったことで、道徳的価値が深まらない子がいた。
- 考えをつくれない子のためにペアトークを取り入れたことは、全員がお互いに話し合う姿から、言語化の支援として有効であった。
- わたしたちの道徳P112を見せることは、みんなが使うものを思い出せるようにするうえで有効であった。

- 大事にしている様子の役割演技を行い、双方の気持ちを聞くことは、みんなのものを大切にするとお互いが気持ちいいことに気付くようにするうえで有効だった。
- 自分のこととして道徳的価値を深めるためには、全員がペアで役割演技をするなどの時間の保障が必要だった。

<p>終末</p>	<p>4 児童の日頃の様子を紹介した。</p> <p>いつもならべているよ。</p> <p>うれしいな。今度からぼくもしよう。</p>  <p>資料5：授業で紹介したみんなのものを大切にする子ども</p>	<p>○ 自分の考えを發表したり、友だちの考えを聞いたりすること、友だちの実際の写真を見ることは、実践への意欲を高めるうえで有効だった。</p>
-----------	---	--

③ 実践1の考察

○成果

- ・考えをつくれない子のためにペアトークを取り入れたことは、全員がお互いに話し合う姿から、言語化の支援として有効であった。
- ・日常生活の中で大事にしている様子の役割演技を行い、した人も見た人も気持ちを聞くことは、みんなのものを大切にするとお互いが気持ちいいことに気づき、実践への意欲を高めるうえで有効だった。

●課題

- ・登場人物になりきれずに演技の途中でニヤニヤしたり笑ったりしていたので、役割演技にうつる前にどの場面のどんな役になるのか、状況設定をもっとしっかりおさえる必要があった。

(2)実践2 (10月27日実施)

第1学年 主題名 友だちとなかよく

価値項目 2-(3) 信頼・友情

資料名 にわのことり(文溪堂)

① 本時の主眼

- ・ 友だちと仲良くするよさに気づき、仲良くすごそうとする心情を育てる。

② 展開

	主な学習活動	支援の有効性 (○成果、●課題)
導入	<p>1 友だちがいたほうがいいか、話した。</p> <p>T: 友だちがいるかな。</p> <p>C: いる。</p> <p>C: ○○ちゃんと、○○くと…。いっぱいいる。</p> <p>T: いなくても一人でもいいんじゃない。</p> <p>C: だめ。いたほうが楽しい。嬉しい。</p>	<p>○ 学校における友だちとのつながりの想起は、学習の方向付けについて有効だった。</p>

○鳥の名前を確認し、友だち同士であることをおさえた。

友だちについてかんがえよう。

- 2 「にわのことり」を読んで話し合った。
○みそさざいが迷いながらうぐいすの家に行くことに決めた気持ちを考えた。

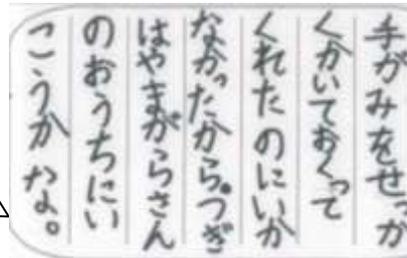
うぐいすの家の
方が近くて明るいな。
みんなといっしょが
いいな。
歌の約束を先に
してたからな。



資料6：迷っているみそさざいに共感する子ども

- 楽しめないみそさざいの気持ちを考えた。

心配で食べれないな。
やまがらさんどうして
るかな。
さみしいかもしれないな。



資料7：やまがらが気になって楽しめないみそさざいに共感する子どものノート

- やまがらのところへ行くみそさざいの気持ちを考える。

「おたんじょうびおめでとう」
「ありがとう、来てくれたんだね。どうして来てくれたの？」

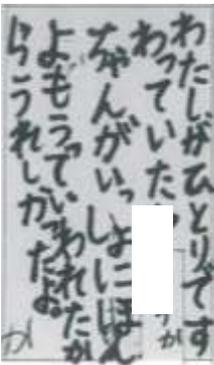
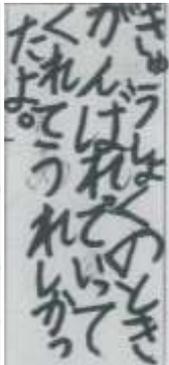
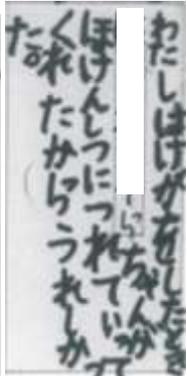
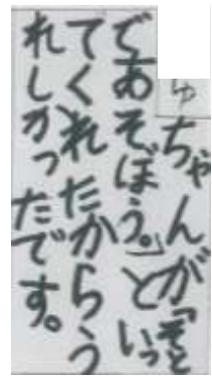
やっぱり一緒にお祝いしたくて。
ひとりで待たせてごめんね。



資料8：やまがらのところへ行って話すみそさざいとやまがらの役割演技

ともだちがいるってうれしい。

- 先生と子どもとで役割演技をすることは、つい自分のことを中心に考えてしまった思いを多様に表現し、全員がやまがらに共感するうえで有効だった。
- ペアトークをすることは、葛藤するみそさざいに共感する上で有効だった。
- 状況把握のために、教師からの説明やゆさぶりの発問が必要だった。
- 先生との役割演技を行った後、子ども同士の役割演技を取り入れたことは、やまがらへの真摯な思いを多様に表現させ、価値を深めることに有効であった。
- 子どもたちが多様な思いをもっていることを全員で共有するために役割演技をする時間をもっと保障する必要があった。

<p>展開後段</p>	<p>3 今までの自分をふりかえり話し合った。</p> <p>T：友だちと仲良くして楽しいな、友だちがいてよかったと思うところはあるかな。</p> <p>C：一緒に遊ぶのが楽しい。</p> <p>C：一緒の方が勉強をがんばれる。</p> <p>C：けがをしたら心配してくれてうれしかった。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>自分もみんなも友だちといっしょだとえがおに</p> </div>	<p>○ わたしたちの道徳の書きこみをみることは友だちと仲良くしているところ、友だちがいてよかったと思うところを想起する上で有効だった。</p>
<p>終末</p>	<p>4 写真やカードの言葉を紹介し、自分たちの笑顔をふり返った。友だちがいてよかったカードを書いた。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;"> <p>みんなえがおだね。とてもたのしそう。いっしょにあそびたくなる。</p> </div>  <p style="text-align: center;">資料 9：授業で紹介した笑顔で遊ぶ写真</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">     </div> <p style="text-align: center;">資料 10：子どもが書いた友だちがいてよかったカード</p>	<p>○ 友だちと笑顔で遊ぶ写真やいいところみつけのカードの言葉などの紹介は、お互い笑顔であることに気づくこと、実践への意欲を高めることに有効だった。</p> <p>○ 写真やカードの言葉は、自分の中にある価値を言語化し、友だちのいいところを書くうえで有効だった。</p>

③ 実践 2 の考察

○ 成果

- ・ペアトークや役割演技を取り入れたことは、自分の考えを経験と照らし合わせて話したり聞きあったりすることで、見方・考え方が広がり、友だちのいいところを見つめる力につながった。
- ・役割演技を、先生と子ども、子ども同士、など多様な形で取り入れたことは、多様な思いを表現させ、つかんだ道徳的価値をより深めることに有効であった。

● 課題

- ・子どもたちの多様な思いを全員で共有するために、役割演技をする時間をしっかり保障する必要があった。

9 研究のまとめと研究成果と課題

(1) 全体考察

5月と12月のアンケート結果の比較から、全体考察を行った。

【資料 11、12】「自分のことが好きか」「ひとりぼっちでさみしいとおもうことがあるか」の項目を見て行った。「とても好き」の割合が増え「あまり好きじゃない」の割合が減っていること、「とてもそう思う」がいなくなり「思わない」が増えていることが分かる。自信の低さや自尊感情の低さが明らかであった子どもたちが、自分のよさに気づき、よりよい自分になろうとする思いや願いをもってきているといえる。このことから、道徳の時間に動作的表現活動を取り入れ、多様な見方・感じ方ができるように活動の在り方を工夫したことは有効だった。

活動の取り入れ方の吟味や切り返しの発問の工夫などで状況把握を適切に行えば、より共感的な動作的表現活動となり、価値をとらえ、自分の経験と照らし合わせ、価値の主體的自覚を図ることができると思われる。

(2) 研究の成果と課題(○成果●課題)

○動作的表現活動を取り入れることは、場面状況を把握でき、経験と照らし合わせやすくなり、自分の言葉で語りだせるので、価値に対する自分の考えをより明確にするうえで有効だった。

○日常生活の中の様子の役割演技をとりいれたことは、実践への意欲を高めるうえで有効だった。

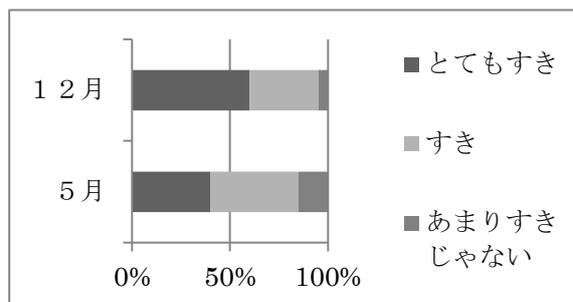
●状況把握が適切に行えるための具体的支援の在り方の究明

●動作的表現活動の時間の保障

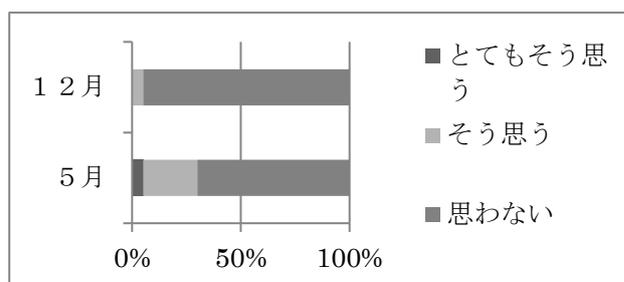
《参考文献》小学校学習指導要領解説 道徳編

福岡県教育委員会 道徳教育実践ハンドブック

平成25年度 小都市・三井郡教育研究所研究紀要



資料 11: 自分が好きかに関するアンケート結果の比較



資料 12: ひとりぼっちでさみしいとおもうことがあるかに関するアンケート結果の比較